

産学連携による実務人材育成ワーキンググループ 報告概要

求められる観光人材像 (ディプロマポリシー変革に必要な要素)

観光系大学・学部において、
以下のような人材の育成が求められている

変化やニーズを分析できる人材

—①、②、④、⑤

(背景) インバウンドの拡大、IT/AI技術の進展、
ビッグデータの活用

新しい価値を創造できる人材

—①、③、④、⑥

(背景) ニーズの多様化、ポジショニングの重要性、
ビッグデータの活用

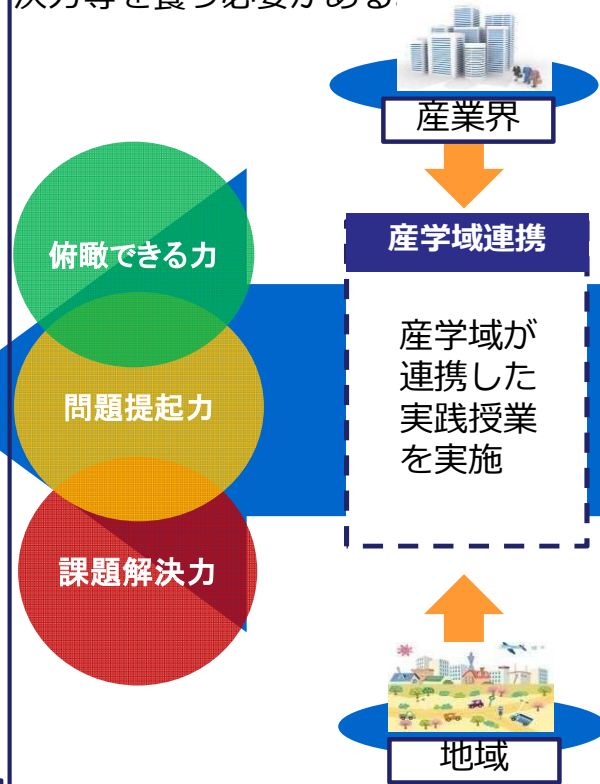
地域の魅力を伝え、活用できる人材

—②、③、⑤、⑥

(背景) 地方創生の必要性
魅力の発見、活用はますます重要に

観光系大学・学部の教育に必要な視点 (カリキュラムポリシー変革に必要な要素)

各大学・学部の特色を生かし、観光を教育するとともに、「観光で」教育し、教養・専門知識の修得とともに産学域連携による実践授業で、物事を俯瞰できる力、問題提起力、課題解決力等を養う必要がある



各大学・学部の特色を生かした教育

① グローバル	語学、留学、異文化理解等を通じ、 グローバルイズムを体系的に修得
② ローカル	地域資源（自然、文化、歴史等）の 観光活用と保全を体系的に修得
③ 経営	企業経営や観光地経営を体系的に 学び、マネジメント能力を修得
④ 情報	AI/ITリテラシーを修得し、AIやITを 観光に生かすことが出来る力を修得
⑤ 計数感覚	ファイナンスや統計学を通じ、計数 感覚を身に付ける
⑥ ホスピタリティ	コミュニケーション能力やマナー、 理論と実践を融合できる力を修得

産学の採用の際のミスマッチ解消、専門性を持った多様な人材確保・定着



ホスピタリティ人材



経営・中核人材

人材の定着にあたっては、「働く魅力」と「稼ぐ力」「キャリアパス」はリンクしているので、産業界（企業）の努力も必要

産学域連携

変化の早い観光産業においては、産学域が連携し、
それぞれの最先端のノウハウを共有した人材育成が不可欠である

(課題)

- 既存のインターンシップ等のほか、**どのような取組が有効か更なる検討が必要である**
- 産学域連携においては、個人的なネットワークに依存する傾向にあり、**産学域のマッチングシステムの構築が求められている**

